

平成29年度

教員を対象にした 消費者教育講座

「消費者市民社会」
を目指す授業の実践や
指導方法が学べます！

主 催：独立行政法人国民生活センター
企画・講座運営：公益財団法人消費者教育支援センター

日 時 平成29年 **8月22日(火)～23日(水) 2日間** (1泊2日の宿泊研修)

会 場 独立行政法人国民生活センター相模原事務所
〒252-0229神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL:042-758-3161
<http://www.kokusen.go.jp/hello/map.html>
(JR横浜線 淵野辺駅南口から徒歩20分)

<宿泊> 同上

対 象 全国の小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、特別支援学校等の教員

費 用 受講料 1,900円、宿泊料 3,830円
食事代 2,400円 (1日目夕食・2日目朝食・昼食) いずれも税込

定 員 72名 (先着順)



本講座の P O I N T

- 1 消費者市民社会を目指す指導方法を学び、すぐに活用できる指導案が作成できる！(作成したデータは持ち帰り可)
- 2 教員による消費者市民教育の実践例の紹介！
- 3 他地域、他校種、他教科の教員と交流ができる情報交換会あり！

昨年度の様子(ワークショップ)



昨年度の参加者の声(講座アンケートより)

- 「実践的な講話やワークショップですぐに授業に活かせる内容ばかりだった。全国の先生方の実践が聞けて刺激になった。」(中学校 技術・家庭科)
- 「必要は感じていても進めることが難しい消費者教育について、じっくりと時間を使い、他県の先生方と一緒に学ぶことができたことは大変有意義な時間となった。」(中学校 社会科)
- 「異校種の先生方との交流が良かった。」(小学校)



カリキュラム概要

●講 義① 「よりよい社会をつくる消費者教育の考え方・進め方 —消費者市民社会の構築に向けて—」

梶山女学園大学現代マネジメント学部教授・日本消費者教育学会会長 東 珠実

●講 義② 「インターネット・スマホをめぐる子供たちのトラブルについて」

独立行政法人国民生活センター相談情報部 消費生活相談員

●実践報告① 「中学校技術・家庭科家庭分野におけるクリティカルシンキングを育む学習指導法」

埼玉県北部地区技術・家庭科教育研究会 埼玉県美里町立美里中学校教諭 砂川千津子

●実践報告② 「高等学校公民科における消費者市民教育—主体的な学びをいかに作り出すか—」

栃木県立足利女子高等学校教諭 阿見 拓男

●ワークショップ 「テーマ：消費者市民社会をめざす消費者教育の指導例」

助言者)	梶山女学園大学教授	東 珠実
	埼玉県美里町立美里中学校教諭	砂川千津子
	栃木県立足利女子高等学校教諭	阿見 拓男
	消費者教育支援センター総括主任研究員	中川 壮一
	消費者教育支援センター総括主任研究員	柿野 成美

※ 講師の都合等によりカリキュラムを変更することがあります。

受講方法

平成 29 年 5 月 8 日 (月) から、
公益財団法人消費者教育支援セン
ターホームページより申込受付を開
始します。

※カリキュラム等詳細は、独立行政法人国民生活センター及び公益財
団法人消費者教育支援センターホームページに掲載しています。

平成 29 年 8 月 8 日 (火) 締切

※ 定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込先 URL

<http://www.consumer-education.jp/2017kyouin/>



【宿泊施設】

TV、Wi-Fi、バス・トイレ完備のシングルルーム

問合せ先

公益財団法人 消費者教育支援センター 担当：野中・柿野

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14 全国婦人会館3階

TEL：03-5466-7341 FAX：03-5466-2051 URL：<http://www.consumer-education.jp/>